取扱説明書

充電式 ライトラジオ

LRD-110W

■ご使用の前に

この度は、本製品をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。
正しくご使用して頂くために、ご使用前にこの取扱説明書をよくお読み頂き、機能を十分にいかして正しくご愛用下さい。お読みになった後は大切に保管し、わからないことや不具合が生じたときにお役立て下さい。

※本書の内容を無断で転載や複写をしないでください。
※記載の外観および仕様は改良のため予告なく変更することがあります。
※本書の記載の誤りなどについての補償はご容赦ください。
※当社では常に製品の品質の改善を行っており、お客様のご購入時期によりましては同一製品の中にも多少の差があるものがございますがご了承ください。
※本書の内容につきましては、将来予告なしに変更することがあります。

注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が障害を負う可能性が想定される内容、又は物的損害の発生が想定される内容を示しています。

○むやみに本製品を分解しないでください。故障、感電事故の原因になります。
○本製品を熱、ショック、水、湿気から妨げてください。
○極端な温度変化は結露などの原因になりますので、お避けください。
○夏場の暑い車内、ホコリの多い場所や海岸などの砂の多い場所などに放置すると、本体の変形や故障などの原因になりますので、お避けください。
○本体のお手入れには柔らかい布で乾拭きしてください。洗浄剤やアルコールなどのご使用は本体の変質、故障の原因になりますので、お避けください。
○本体の内部は大変精密に出来ていますので、落としたりぶつけたり、強いショックを与えないでください。故障の原因となります。
○ロッドアンテナ伸縮時は、目などに当たらない様にご注意ください。
○アルカリとマンガン等、種類の違う電池、新しい電池と古い電池を混ぜてお使いにならないでください。電池の過熱による発火、破裂や液漏れによる本体破損の恐れがあります。
○乾電池の溶液が皮膚等に付着した場合は、水で洗い流してください。
○電池は新しいものをお使いください。また、入れる際は特に電池の極性を間違えますと、ラジオの中の電気回路がショートする恐れがあります。その際、乾電池が異常に熱くなったり、煙が出た時は速やかに乾電池を外してください。
○長期間(2週間程度)使用しない場合は、液漏れ防止のため乾電池を取り外してください。
○点灯中のLEDライトを直視しないでください。目を痛める恐れがあります。
○屋外で使用中、雷が鳴り出したらアンテナを畳み、製品から離れてください。
○使い切った電池はすぐに取り出してください。液漏れによる本体破損の恐れがあります。

ご使用上の注意

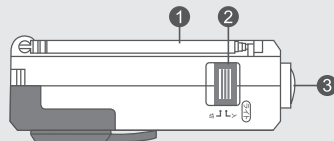
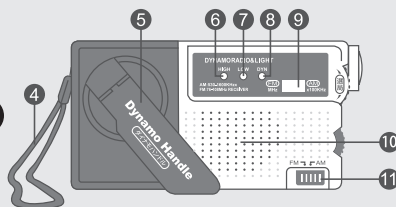
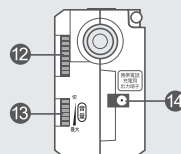
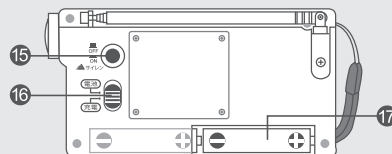
○ラジオの音量が小さくなったり歪んだり、ライトが暗い感じや点灯しなかった場合は、電池を全て新しいものと交換してください。
○ラジオは高い建物が立ち並ぶ場所、鉄筋コンクリートで出来たマンションなどの建物内部やトンネル、電車の中、ラジオ局のアンテナから遠い地域では、電波を受信出来ない場合があります。
○屋内で電波を受信しにくい場合は、窓際など受信感度の良い場所に置いてください。
○山・谷などでは、ラジオの電波が届きにくい場所もあります。
○スピーカーにクレジットカードやテレホンカードを近づけないでください。磁力の影響でカードが使えなくなる恐れがあります。
○普段のご使用はなるべく乾電池を使用されることをおすすめいたします。手回し充電は非常時にお使いいただくことが、本製品の回転部分の寿命を延ばします。

主な仕様

■周波数帯域／FM:76〜108MHz・AM:530〜1600kHz
■スピーカー／口径40mm 0.5W 8Ω
■最大出力／500mW
■ライト／LEDライト
■端子／携帯電話充電用出力端子
■付属品／携帯電話充電用プラグ2種・USBアダプタ・延長ケーブル1本・ハンドストラップ
■電源／単4乾電池×2本(別売)・リチウム電池3.6V(内蔵)
■寸法／(W)123×(H)63×(D)47 mm
■質量／約214g

リチウム電池メモ

○内蔵電池は充電を繰り返すと、使用できる時間(バッテリー持続時間)が少しずつ短くなります。
○内蔵電池は分解したり改造しないでください。
○電池が漏電したり、異臭がする場合は、直ちに使用をやめてください。漏液した液体に引火し、発火・破裂の原因となります。
○電池残量なしの状態で保管・放置しないでください。長期間放置される場合は、半年に1回程度、電池の補充電を行ってください。

各部名称

❶ ロッドアンテナ
❷ ライトスイッチ(入/切)
❸ LEDライト
❹ ハンドストラップ
❺ ダイナモハンドル
❻ HIGH
❼ LOW
❽ DYN(ダイナモ使用時点灯)
❾ チューニングスケール
❿ スピーカー
⓫ AM/FM切替スイッチ
⓬ 選局ダイヤル
⓭ 音量/切ダイヤル
⓮ 携帯電話充電用出力端子
⓯ サイレンボタン
⓰ 充電/電池 電源切替スイッチ
⓱ 電池ボックス

電池の入れ方

1.本体背面の電池ボックスの蓋の凹凸部を下にスライドさせ開けます。
2.単4乾電池2本を表示に従い、正しくセットしてください。
3.電池をセットしたら、蓋をしっかりと閉めてください。

電池寿命(ラジオ使用時):連続約40時間(マンガン乾電池使用)

注 意

○電池の極性(+/−)を間違えてセットすると、液漏れの原因となります。
○乾電池は古いものと新しいものを混ぜてセットすると、古い電池に負担がかかり過ぎて液漏れの原因となります。交換する際は2本とも交換してください。
○本製品を使わない場合は、こまめに電源をオフにすることで電池を長持ちさせることができます。
○長期間本製品を使わない場合は、乾電池を取り出しておいてください。電池の液漏れの恐れがあります。
○電池のお湯路湯が満タン状態の時は、HIGHのLEDライトが点灯します。電池残量が不足してくると、LOWのLEDライトが点灯します。

手回し充電をする場合・乾電池を使用する場合

1.本体背面の電源切り替えスイッチを「充電」に切り替えます。
2.充電は本体正面のダイナモハンドルを起こして回してください。左右両方向の回転が可能です。

○手回し充電は1分あたり約130回転を目安としてください。
○手回し充電はおよそ500回転程度でフル充電となります。
○ダイナモハンドルを回せば回すほど、ラジオ・ライトがより長く使用できます。
○乾電池で使用する場合は、上記の方法で電池をセットし、電源切り替えスイッチを「電池」に切り替えます。
○手回し充電を行う際は、ハンドルを押さえつけて回さないでください。

ラジオを聞くには

1. 電源切替スイッチを「充電」か「電池」のどちらかに切り替えます。
2. 音量/切ダイヤルを時計回りに回すと、"カチッ"と音がして電源がオンになります。音量はそのままダイヤルで調節してください。
   ラジオの電源をオフにする場合は、反時計回りに"カチッ"と音がするまで回してください。
3. AM・FM切り替えスイッチでAM/FMラジオのどちらかを選びます。
4. 選局ダイヤルでお好みの放送局を選局します。

○FMラジオを聞く場合は、ロッドアンテナを伸ばし、良く受信できる位置に合わせてください。
○AMラジオは、中にフェライトバーというアンテナが内蔵されておりますので、ロッドアンテナは使用する必要がありません。本体の向きを調整して、良く受信できる位置に合わせてください。

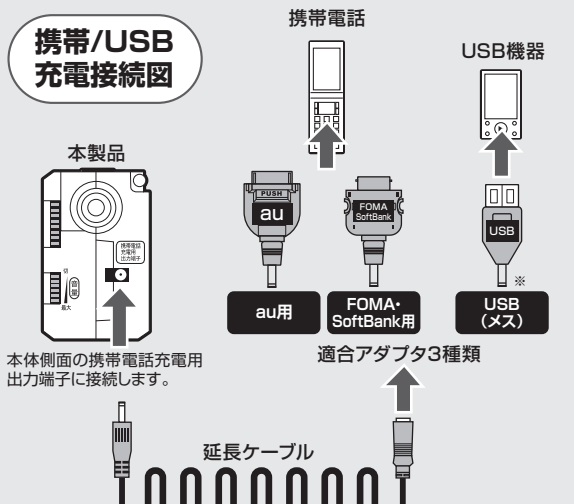
手回し充電目安	3分間の手回し充電で、約25分使用可能（音量1/3の場合）

※上記はあくまでも目安であり、使用状況・環境によっては異なる場合がございます。

携帯電話を充電するには

○1分あたり約120回を目安にダイナモハンドルを回し、携帯電話の充電を行います。

1. 携帯電話に適合するアダプタ（下記「接続図」参照）を差し込みます。
2. 本体とアダプタを延長ケーブルで接続します。
3. ダイナモハンドルを回し、携帯電話の充電を行います。回転スピードは1分間あたり約120回転が目安です。

○回転終了後もしばらくは電気が供給されていますので、すぐに接続を解除しないでください。
○接続した状態でも通話は可能です。

※USBアダプタには別途、お持ちの機種に適合するUSB充電ケーブルが必要です。
※USBアダプタはバッテリーの仕様により対応できない場合があります。

手回し充電目安	1分間の手回し充電で、約2分の通話が可能

※上記はあくまでも目安であり、ご使用の携帯電話の機種・使用状況・環境によって使用可能時間は異なる場合がございます。

注　意

■携帯電話の充電は緊急用としてお使い下さい。
■デジタル式携帯電話（docomo、au、SoftBank）のバッテリーの定格が3.6V〜3.7Vの機種に対応しております。
■PHS、H"、アナログ式携帯電話には対応しておりません。
■一部特殊な機種には対応できない場合があります。
■新製品等には対応しない場合があります。
■一部の携帯電話は、状況により「!」マーク等が表示される場合があります。

お問い合わせ
製品の仕様・操作方法・購入等及び故障・修理等に関して
Mitsumaru Japan インフォメーション
メールアドレス
info@mitsumarujp.com

○年末年始などのサポートセンター休業日には、お客様へのご対応ができない場合がございます。

LEDライトを使用するには

○本体上面のライトスイッチを「入」に切り替えるとLEDライトが点灯します。
○LEDライトを消す場合は、同スイッチを「切」に切り替えます。

手回し充電目安	1分間の手回し充電で、約30分使用可能

※上記はあくまでも目安であり、使用状況・環境によっては異なる場合がございます。

サイレンを使用するには

○本体背面のサイレンボタンを押すとサイレンが鳴ります。
○サイレンを停止させる場合は、もう一度サイレンボタンを押します。

手回し充電目安	1分間の手回し充電で、約2分使用可能

※上記はあくまでも目安であり、使用状況・環境によっては異なる場合がございます。

故障かな?と思ったら

修理の依頼をする前に、下記についてお調べください。お調べになっても尚、不具合がある場合は、使用を中止し、お買い上げの販売店または、弊社サポートセンターまでご相談ください。

こんなとき	原因	処置方法
ラジオが受信されない。（ラジオの音がしない）	電源切り替えスイッチ（充電/電池）を誤っていませんか	電源切り替えスイッチを正しく入れる。
	電池の入れ方を誤っていませんか。	電池の極性（+/−）を正しく入れる。
	電池が消耗しているか、または充電されていますか。	2本とも新しい乾電池と交換するか、充電する。
AM放送が聞き取りにくい	本体内の受信アンテナの向きが電波の強い方向から外れていませんか。	本体の向きを変えて最も受信感度の良い位置に置く。
	電池が消耗しているか、または充電されていますか。	2本とも新しい乾電池と交換するか、充電する。
FM放送が聞き取りにくい	ロッドアンテナを伸ばしていますか。	ロッドアンテナを伸ばして受信感度の良い方向へ向ける
	電池が消耗しているか、または充電されていますか。	2本とも新しい乾電池と交換するか、充電する。
ライトが点灯しない	電池の入れ方を誤っていませんか。	電池の極性（+/−）を正しく入れる。
	電池が消耗しているか、または充電されていますか。	2本とも新しい乾電池と交換するか、充電する。

保証内容

1.取扱説明書に従った正常な使用状態で故障した場合、保証期間中は修理または製品交換を無料で行います。
2.保証期間内でも次のような場合は有料となります。
　A.取り扱い上の不注意による故障。
　B.天災・火災・異常電圧等外部要因による故障・破損。
　C.誤った使用、落下、改造などによる故障、破損。
　D.保証書の提示がない場合。
3.万一故障が発生したときには、必ず保証書を添えてお買い上げ店ご持参いただくか、または弊社へお問い合わせください。
4.保証対象となる部分は、本体のみとなります。
5.この保証書は本書に明示した保証条件のもとで、無料修理をお約束するものです。従って、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではございません。
6.保証書の再発行は出来ませんので、保管にご留意ください。
7.上記の保証は納入日より1年間です。対象は日本国内に限ります。

■交換サービスについて
保証期間中、お客様に迅速に製品をお届けするため、修理の他、必要に応じて同一機種、同等程度の仕様機種と交換させていただくことがあります。ご贈答、ご転居等でお買い上げ販売店に修理がご依頼なれない場合には、弊社へご相談ください。

■保証期間経過後のサービスについて
有料になりますが、保証期間内と同様のサービスが受けられます。

■個人情報の取り扱いについて
お客様にご連絡頂きました保証に関する個人情報（お名前、ご住所、お電話番号）は保証期間内のサービスの目的にのみ利用させて頂きます。これらの情報は、お客様に明示した利用目的の範囲を越えて利用することはございません。原則として弊社以外の第三者（修理委託先は除く）に開示または提供致しません。

保証書

ご購入日	保証期間　購入日より1年間
ご住所・店名・TEL・ご担当者様	
シリアルナンバー	